

臺灣總督府  
臨時情報部

# 報部

昭和三十三年六月一日

昭和三十三年九月二十三日  
昭和三十三年六月一日發刊  
（毎月一日、十一日、廿一日發行）

徐州の陥落と我が包圍作戰の進展

（臨時情報部）

愛國貯蓄運動について

（財務局金融課）

地方情報

（州・廳臨時情報部）

海外情報

（臨時情報部）

附錄 事變日誌

第七十二號



# 徐州の陥落と我が包圍作戰の進展

制壓—牽制—包圍—殲滅

臨時情報部

## 一 心臟部徐州城破る

支那軍の誇れる作戰據點であり我が包圍軍の戰略目標であつた徐州城は十九日完全に我が攻略する所となり、二十日正午には世界戦史に輝く徐州入城式が行はれた。二十五日には〇〇飛行場に於て北支竝に中支派遣軍兩最高指揮官寺内大將と畑大將の固き握手は交はされ、竝に南北兩軍は完全に聯絡し、津浦全線開通も旬日を持たずして成ると傳へらるゝに至つた。斯くして戦局はその本來の目的たる包圍殲滅戦に移り、既にその戦果は着々と奏效し、西部迂回部隊は早くも二十四日蘭封を陥れて開封に迫り又一部は二十八日東部隴海線の要衝歸徳を占領せるが此の大包圍作戰について特筆大書すべき事は我が包圍線が支那軍の心臟をグットつかんで大膽卒直に遂行せられた事である。即ち戦略上の制壓、牽制、包圍、殲滅の大作戦が戦勝のデマに酔ふ支那軍の隙をねらつて敢行せられた事である。

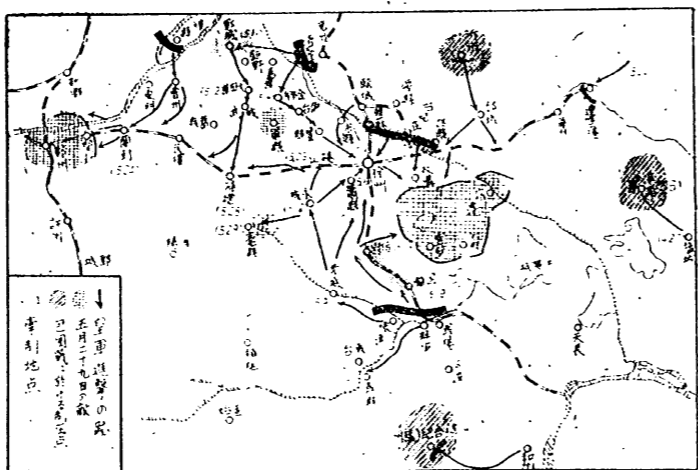
## 二 制壓作戰

徐州包圍殲滅戦の序幕は先づ外郭戦に始まつた。我が包圍軍に思ふ存分の殲滅戦を敢行させる爲にはその廣大なる包圍圏の外郭を清掃し、外線よりする支那軍の蠢動を制壓して後顧の憂を断つて行ふ事が必要である。此の重要な作戦上の制壓を引受けたのが山東省沂州(四月十九日占領)、江蘇省阜寧(五月六日占領)、安徽省合肥(五月十四日占領)の各地點並にその附近を攻略せる部隊であつた。

### 三 牽制作戦

臺兒莊、沂州の占領以來山東南部に於ては殆んど大きな戦況の變化はなかつたが此の間支那側は盛に彼等一流のデマ放送を行つた。曰く「臺兒莊の日軍全滅せり」曰く「沂州附近に於ける支那軍は勇戦力闘、日本軍は屍體山積し遂に敗走するに至れり」等々、而もその上念の入つた事には沂州、臺兒莊大勝の祝賀大行列までやり、蔣介石も漢口に於て勝利の酒杯を捧げて「國民よ、臺兒莊の大勝に酔ふ事なかれ……」とまるで日本軍の言ふべき言葉をそのまゝ放送してゐる。もつとも支那側がこの様な日本軍の言ふ事をそのまゝ失敬することは彼等の常套手段である。とに角沂州、臺兒莊では彼等は大勝利を得たものと信じてゐたらしい、思はば思へ我軍は四月三日臺兒莊を完全に占據すると共に、僅少の兵力を以て三十餘萬の支那軍を臺兒莊、韓莊、邳縣から新安鎮に至る大運河の正面に引寄せた。それは勿論我が包圍陣形の整ふまで敵の大部隊を一箇所に引寄せ置く必要即ち牽制作戦の爲であつた。即ち我が部隊は一箇大隊の兵力を以て克く敵一箇師團以上の大軍と相對峙したのである。それ故に支那側は「日本軍與し易し」「日本軍は弱勢なり」と見、臺兒莊、韓莊、沂州の戦で味方は大

徐州附近大包围殲滅戦要圖



勝せりとの空宣傳、デマ放送に踊らされ、我も我もこの大運河の線に引寄せられ、雲霞の如き大兵團となつて徒らに戦勝のデマに酔つてゐた。この敵の油断、敵の間隙に我が徐州の大包围陣形は完備せられた。即ち大運河前面の我が僅少部隊に眩惑させられた支那軍には包围陣形の未だ成らざるに先立つて包围軍を各個撃破すると言ふ所謂内線作戦は到底望まれなかつた。唯彼等は大運河と徐州の間に犄めき合つて徒らに密集の度を倍加するだけが能であつた。

### 四 南部包围作戦と徐州の陥落

包围作戦の戦果は急速果敢なる機動作戦にある。先づその目覚ましい展開は西南部包围線を形造る北上部隊により敢行された。即ち淮南地區に待機中の我が部隊は五月四日戦車隊の快速

を併用して懷遠を出發、七日蒙城に迫り九日早朝戦車を先頭に入城した。そして支那軍が堅固な陣地を築き我が北上軍を防がんとした固鎮、宿縣の敵陣地及び我が津浦線北上に備へた敵の内線作戦に對しては蚌埠より北進した一部隊を割いて軽くあしらひ、その主力部隊は敵陣地を攻略する事よりも一刻も早く隴海線を遮断し、包圍線を完成する事を急務として敵防禦線のはるか西方の大平原を迂回して蒙城に入り、更に北上して十二日永城に突入した。蒙城以北は道路も完全であり敵らしい敵もなかつたので岩仲快速部隊は猛進又猛進、韓道口の敵陣を迂回して十四日午後三時遂に徐州西方傷山附近に於て隴海線遮断一番乗りの殊勳を立てたのであつた。

他方その主力部隊は十五日安徽省北端の要衝濉溪口を占領、更に同日中に徐州西南の瓦子口を攻略、尙も月明の曠野を不眠不休の強行軍を以て北進、十六日未明徐州縣城より十五軒の蕭縣に迫り同夕刻早く之を占領した。

蕭縣占領の餘勢を驅る我が部隊は直に徐州攻略の態勢を整へ、十七日夕刻には徐州城を眼下に見る霸王山頂を占領して砲列を布き徐州目がけて一齊砲撃を開始、兩角、渡邊兩部隊は十九日午前九時十分徐州城壁を奪取して一番乗りの殊勳を立てたのである。

これと呼應して蚌埠より北進せる部隊は十二日宿縣南方の南平鎮を攻略、漸次固鎮、宿縣の敵を制壓して十八日宿縣、十九日固鎮を占領したのである。

更に此の戦闘に於て興味深い事は敵軍の退路に當る徐州東南一帯の交通線は完全に我が部隊によつて占領せられ、敗走し來る敵軍は悉く我が網の目に入つてしまつて二十餘萬の支那軍は網の目の引締

められるに従つて右往左往するばかりでその殲滅の日も近きにある。

(要圖参照のこと)

## 五 北部包圍作戦と蘭封の攻略

我が東部に於ける牽制作戦の間に西北部迂回作戦並に金郷、魚臺の堅陣突破は完成した。即ち

北方より濟寧で待機中の部隊及び十二日未明山東省西端濮縣附近で黄河を渡河した部隊とは共に隴海線南下を強行した。此の間支那軍は隴海線を防禦し我が南下を止める爲に金郷、魚臺の線に強固な永久陣地を築いてゐた然るに次の堅陣も我が南下部隊の前には一たまりもなく突破せられてしまつた。

他方我軍の黄河渡河に備へて鄆城、曹州の間に十萬の兵を集めてゐたが、此の方面の支那軍は戦區の相違から相互間の連絡は全くついてゐなかつた爲め、我が濟寧にありし部隊の一部は十日夕刻長驅鄆城に迫り十一日之を占領して此の方面に於ける十萬の支那軍の行動を牽制し、左軍の黄河渡河を容易ならしめたのである。

黄河渡河部隊は一舉に曹州を襲つたが此の曹州、歸德及び歸德南方大和の三點を連ねる線は支那側の漢口防衛の第一線とも言ふべきものである爲、十四日その一角の曹州を崩して二十四日蘭封を攻略占領した事は徐州敗退の支那軍に立直る隙をも與へない電光石火の早業であつた。従つて支那軍には致命的なる戦略上の痛手であつた。

他方十一日鄆城を陥れて友軍の渡河を容易ならしめた部隊は十二日大田集より十六日城武に迫り濟寧にあつた部隊は十二日大義集を、十四日金郷、魚臺の線を突破して十五日豊臺に達し、隴海線を挟んで北上部隊と呼應して徐州に殺到したのである。

徐州包圍線に於ける我が南下北上の兩軍が廣汎なる地域に亘り乍らも、一體の如くピッタリと呼吸を合せた行動は無敵皇軍の優秀なる作戦と統制を物語るものであり、世界戦史に誇るこの大戦果を獲得したものである。

かくて南下部隊の一部は二十四日蘭封を陥れて敵の根據地開封に迫りつゝある。又他の一部は歸徳を中心とする包圍陣を次第に完成し二十八日歸徳入城の驚異的記録を作り上げた。かくて東部徐州西南の包圍網と共に空前絶後の大包圍殲滅戦は世界注視の中に着々と其の成果を收めつゝあるのである。

## 六 徐州陥落の意義

十九日徐州の陥落成るや大本營陸軍部は「徐州を攻略して」と題する當局談を發表して徐州會戦の華と散れる幾多勇士の英靈に感謝と尊敬の至情を捧げると共に、次に來るべきものへの決意を表明した。

「その談話の中に隴海線一帯は對日抵抗の第一線として數年來設備を加へられたる所、又徐州こそは

彼等が金城湯池と恃む所であり、總司令李宗仁をして、「大運河の決戦は管に戦區に於ける勝敗の問題たるのみならず國家民族の危急存亡の岐路なり」と叫ばしめた所で、實に世界環視の焦點となつたのであつたが、皇軍一度立つや正に疾風枯葉を卷くの概を以てこれを攻略し、その眞價を發揮した。今や徐州攻略によつて北支、中支にある我が軍隊の陸上移動は可能となり、兩者の統一運用により戦略上の地位を著しく向上したのみならず、隴海線の支配確立は政戦兩略上に於ける我が勢力の一段の進展を意味し、又江蘇、河南、安徽の沃野は蔣政權の桎梏を脱して新政權の陣容を強化するのみならず、津浦線の貫通は北支、中支政權一體化の機運を激成するものと言はねばならぬ」

これ即ち徐州會戦の持つ意義である。

徐州會戦に於て敵に與へたる損害は死傷のみにても二十萬を下らず、殘敵の大部は我が包圍圈内にあるが、支那軍はかゝる損害の前にも尙、抗日救國を稱しつゝ其の實は亡國の一途を辿りつゝある現狀にある。

★

★

★

# 愛國貯蓄運動について

財務局 金融課

## 一 緒言

今や我が忠勇なる皇軍將士は凡ゆる艱難を排して東洋平和の爲悪虐無道なる蒋介石軍閥を膺懲するため廣大なる支那全土に亘つて聖戦の軍を進めてゐる。而も連戦連勝破竹の勢を以て北支に中支に赫々たる戦績を残し敵が最後の防禦陣と特む徐州の堅壘も見事に突破、敵に殲滅的打撃を與へ蔣政權没落の運命も愈々確定的となつたが之を以て未だ支那事變は終幕を告げるものにあらず、更に武力戦の後に來るべき思想戦、經濟戦にも打ち勝つて眞にその目的を達成する迄にはまだ一時日を要するものと覺悟しなければならぬ。戦ひは愈々長期戦となり凡ては本格的の戦時體制に入ることとなつたのである。

此に於て吾々はこの時局の新段階に對する正しき認識と覺悟とを以て益々銃後の護りを固くし戦線にある皇軍が思ふ存戦へるやうに兵器、彈藥其の他の軍需品を充分に供給する事が大

切である。國家總動員法の施行、國民精神總動員の實施等の叫ばれる所以は全くこゝにあるのである。

## 二 經濟戦とは何か

今日の戦争は昔の戦争と異り兵力戦にばかり重きを置くわけには行かなくなつた。これが近代戦の一つの特徴で近代戦は兵力戦の外に更に思想戦、經濟戦、宣傳戦等々所謂國家總力戦であつて、その中でもこの經濟戦が最も重要な部分を占めてゐるのである。

然らばなぜさうなつたかと云ふに今の戦争は總てが機械化して居るので過去の戦役に比し澤山の戦闘資材即ち莫大な金と物とが要るのである。そうしてこれ等新式の兵器を遺憾なく供給するに非ざれば如何に忠勇なる我が皇軍と雖も到底充分なる戦果を收め難いのである。これが近代戦に於て背後の經濟力が大事でありこの經濟戦にも打ち勝たなければ最後の勝利が得られない譯である。

そこで事變も愈々本格的長期戦となつた今日我國でも之に對應するために政府は既に戦時財政經濟政策の第二期工作に着手し、國力の涵養を圖るために努力してゐるのである。

## 三 消費節約と貯蓄奨励

こゝに於て政府は今大事變の戦費として昨年及び本年の議會に併せて約七十四億圓の豫算の

協賛を得てゐるがこの額は既に我が國が過去に於て國運を賭して戦つた日露戦役の後二年の戦費約二十億圓に對して僅か一年半だけで三倍以上にもなつてゐるのである。

然るにかゝる巨額の戦費の大部分は國債に俟たねばならぬし又時局關係の生産力擴充に要する資金も相當多額に上るのであるがこれが日露の役當時の様にならぬに於ては、今日その殆んど全部は國民の力によらねばならぬのである。そこでこれ迄に於ても政府は輸出入の管理であるとか爲替の管理であるとか其他資金の調整、金の使用の制限或は各種の戰用資材に充當すべきものの廢品の回收、或は輸入品を節約して代用品を使用する等各種の細々した制限的消費節約を提唱して來たのであるが今回更に「今後發行せらるべき巨額なる國債の消化を圖り且つ必要なる生産力擴充資金の供給を圓滑ならしむる爲には此の際資本の蓄積を圖るの要あり」として國民貯蓄奨励の一大國民運動を起すに至つたのである。

思ふにこの巨額の國債が圓滑に消化されるかどうかは事變下に於ける財政經濟政策の成否の分れる所であり、加ふるに戦争を行ふに必要な各種の資材をどしどし供給するためには日滿を通ずる軍需工業、其の他時局關係産業の生産力を更に一層擴大する必要がありこれを支障なくやり通す事は現在の我が國としてはどうしても必要な事である。

之政府が今回貯蓄奨励の國民運動を起した所以であり又國民がぜひ貯蓄しなければならぬ理由である。併し斯様な貯蓄奨励運動は我が國に限るものではなく又我が國でも今度始めて行はれたものでもない。日清、日露の兩役當時もやはりその必要が叫ばれ全國各地に貯蓄實行組

合の結成を見非常な効果を挙げたのである。世界大戦當時の歐米各國に於ても亦同様である。そこで國民各自はこの事をよく理解して消費の節約をなし其の節約部分又は所得増加部分を貯蓄する事が銃後を護る國民の責務であることを十分自覺しなければならぬのである。

#### 四 國民貯蓄の必要

そこで若しこの平年より五十億圓以上も多い政府資金が撒布されこれが貯蓄となつて還流せずそのまゝとなつたとすると一體どんな結果になるだらうか、と考へて見ると此の臨時的に著しく増加した國民の所得は總て個人的消費の増加に振向けられる。即ちいろいろの品物を買ふことゝなれば一般物資に對する需要の激増を來すことは明かであるが平時であれば誰でもよい品物がどしどし買へることは望ましいことであるが、現在戦争をしてゐる我が國としては戦争のため必要な資材の供給を充分ならしめるだけで生産設備の擴充にしても原料品の輸入にしても既に手一杯であつて、國內消費のための品物を造る平和産業の方面に力を入れてその供給の増加をはかる餘裕はない。

然るに國民の誰もが増加した所得でこれ等の品物を買はうとすれば必然的に物資の不足を來しその結果は物價の騰貴となり物價が騰貴すれば輸出力も減退し國際收支に影響を及ぼし従つて、又軍需品の供給にも支障を來し又國民經濟の破綻を來し國民生活に壓迫を加へることゝなる。而してこれが極端になれば所謂惡性インフレといふやうなことゝなつて全く收拾のつかぬ

ことゝならぬとも限らぬ。

かくの如くこの運動の成否は戦争の遂行に重大な影響を及ぼすものであるからこの際國民をして出来得る限り貯蓄に努めしめ政府の支拂つた資金の速かなる還流を圖することは個人的に見ても又國家的に見ても最も緊要なることである。

### 五 貯蓄の目標八十億圓

そこで政府は「各種金融機關に集積する貯蓄額並に國債、公社債等に對する直接投資額として大體今後一年間に増加を要する國民貯蓄の額は約八十億圓程度を目標とすることになった。それは前述の豫算の財源として今後一年間に國債發行額は五十億圓を越ゆる豫想であり、その國債の消化のために約五十億圓に近い資金を要し又生産力擴充資金も亦今後一年間に大體三十億圓以上を要する見込みであるからこの兩者を合せて八十億圓以上の資金の増加を是非とも必要とするのである。

而してこれは前項に於て述べた通り長期戦に備へ戦争の最後の目的を達するために必要なのであるから國民さへその氣でやれば左程困難なことではないと思ふ。

然るにこの八十億圓程度の目標は實現出来ないのでないかとの危惧の念を懐く人があるかも知れないが併しこれは固より可能である。何故ならば我が國の一年間の國民の貯蓄の増加は事變前に於ても約三十億圓以上に上つてゐて、これだけの額は今後も特に事變關係の政府資金

の撒布がなくても増加するものと思はれる。そこへ加へて約五十億圓の政府資金が餘分に撒布され、それは爲替管理によつて資本の國外逃避を防止されてゐるので大體國內に留つて直接間接國民の所得の増加となり、これが貯蓄となつて還流するまでには若干の時間的經過は要するとしても兎に角國民はこれを貯蓄に振り向け得るわけで結局この政府資金の撒布による新規の貯蓄可能額五十億圓と平年並の貯蓄増加額約三十億圓を加へて約八十億圓の貯蓄は決して實現の不可能な假想目標ではない。要するに國家のマイナスを國民のプラスで補ふわけで國民各自が従來行つて來た程度の貯蓄を引續きやつて行きそれに加へて事變前に比し所得の増加したものは従來に比べてその生計を膨脹することなく原則として増加した所得の全部を貯蓄すればよいのであつて、之が爲に特別に従來の國民の經濟生活を萎縮させる様なことはないのである。併しこれ等の所得の増加した人でもいろいろな事情でどうしても多少の費用のかさむこともあり得る譯であるから、只これ等の人々の貯蓄に俟つばかりでは目標とする八十億圓は困難であるから、この際その他の特に所得の増加せぬ人に於ても餘裕のあるなしに拘らず自ら進んでこの事變下の國策に協力しなければならぬのである。

勿論最近物價も多少騰貴して居り、又増税も行はれてゐるがこの重大な時局を切抜けるに於いて國民がその困難の一部を戰場にある將士と共に背負ふといふ意味からこの程度の苦痛を我慢することは國民として當然のことである。



## 六 貯蓄獎勵機關とその方法

一四

そこで政府は此の運動の全面的徹底を期する爲今回中央の機關として大藏省内に國民貯蓄獎勵局を新設し右に關する行政を主宰せしめると共に又各方面の意見をきく爲に委員會を設けることとした外、舉國一致の體制をとりその實行機關として、國民精神總動員中央聯盟等と聯絡をとり全國的貯蓄實行組合を結成せしめることにし朝野官民凡ゆる方面の理解ある協力を求め官廳はもとより民間の經濟團體、教化團體、婦人團體等其他と密接なる聯絡の下に中央地方を通ずる統一ある組織を以て全國的にその趣旨を徹底し實行せしめるやうにしてゐる。

要するにかういふ國家的大事業は政府の力のみによつては到底満足なる結果を得られるものでなく、實に國民の理解ある協力によつてなし遂げられるのであるから此の際日本國民たるものは誰でも各々その立場々々に應じて大いに貯蓄報國に努めなければならぬと思ふのである。

尙貯蓄の實行に當つては各自が任意に行ふよりも團體の力による方が實效を挙げ易いと考へられるので第一線の機關としては職場を單位とし或ひは官廳、市町村、青年團、婦人會その他の團體を單位として「貯蓄組合」を結成し俸給、給與、賞與等の支拂に當り其の一部を天引して貯金せしめ、又は毎月收の一部を貯金せしめるやうにする計畫である。

尤も貯蓄獎勵の實施に當つては各地方に於ける政府資金の撒布の狀況その他の經濟状態を充分參酌して緩急宜しきを得るやうにされることはいふまでもないことである。

然らば國民は如何なる方法で貯蓄するか、今度の貯蓄獎勵の運動ではその方法は限つてゐない確かな方法でさへあれば如何なる方法によつても差支へない。郵便局で賣出す國債の直接買入は勿論銀行預金、金銭信託、郵便貯金、産業組合貯金等になし或ひは無盡掛金、各種保險及び郵便年金等に加え、又は割増金附貯蓄債券その他各種の公社債などの類に直接投資する等各人の最も便宜とし且つ好きな方法によればよいのである。兎に角何處へでもよいから資金が累積しさえすれば必ず國家的に最も有效な方面に利用されるやうになつてゐるのである。只この結果として金融機關の預金、貯金、信託等は著しく増加するのであるがこの金融機關はこの際特にその公共的性質を發揮して國家の爲に貯蓄の集積に努力しなければならないのである。

## 七 本島の貯蓄五千萬圓

此に於て本島に於ても此の中央の方針に呼應し總督府に於てはかねて金融課が中心となり、本島の特殊事情を參酌してこの國民貯蓄運動の趣旨の徹底と其の實踐方を懲通する諸施設の準備を進めて來たのであるが、此の程左記具體案を決定したので、愈々全島官民に呼びかけ、一齊に貯蓄獎勵に着手することとなつた。

### 一、國民貯蓄獎勵の趣旨徹底

國民貯蓄獎勵は國民精神總動員運動の一部として實行し之が具體的方法としては講演會の開催、ポスター、標語の配布、ラヂオに依る宣傳其他各種の宣傳を行ふ。

## 二、國民貯蓄の具體的方法

- 1 國債證券及貯蓄債券の直接買入
  - 2 銀行預金、郵便貯金、産業組合貯金、無盡掛金
  - 3 各種生命保険及郵便年金への加入
- 三、國民貯蓄の實行機關
- 官公署、銀行、會社、工場、商工業者團體、町會、街庄部落會等に貯蓄組合を組織せしめ、或ひは既存組合を利用することに依り、貯蓄の實行を爲さしむること。

## 四、國民貯蓄獎勵功績者表彰

故に吾々島民もこの時局に鑑み、一般に國內資源の浪費を自制して貯蓄に努めるのが國民としての務めであるが、只ここに注目されるのは内地の八十億圓に對して臺灣の目標を如何に立てるかといふことである。臺灣は軍需工業其他時局景氣の潤ひが殆んどないためその方からの貯蓄は少いであらうから従つて今までに在る金及び普通に働き出す金を貯蓄するより外はない。これに就いて本島の生産力並に島民の年所得推定と銀行預金、産業組合預金、郵便貯蓄其の他の金融機關の預金等の自然増加から推して臺灣の富と其の生産は於てはなほ相當の貯蓄餘力を認めるに拘らず、諸種の經濟統計の上には期待程には現はれて來ない。又年次貿易收支、並に貿易外收支に見ても然りて、臺灣の貯蓄はもつと大きくなければならぬと思ふ。この原因は色々あるであらうが、本島人中の一部階級が尙自覺の域に達せず、或は舊慣を守つてゐるた

め信用經濟發展せず金錢を金銀裝飾品等に代へ身邊に裝備したり、甚だしきは今尙ほ金錢と共に死藏する風習あることで、之等を經濟的に動員し資金化する場合には案外大なるものがあり從來の自然増加二千五百萬圓を加へて本島で五千萬圓を目標とすることはさして困難ではなからうといふ一般の觀測である。

## 八 結 言

以上によつて大體今回の貯蓄獎勵運動の趣旨を述べたが、かくの如くしてこの國家の尨大豫算の實行による國費の膨脹に伴ふ消費の節約並に物價の騰貴を抑制し政府の支出、國民の生活を安定、國債財源を無限に涵養することは、實に現在に於ける國家經濟の基本的生命線を守ることであつてその成否は又聖戰の目的達成に重大な影響を及ぼすところのものであるから此の際吾々は何としてもこの大事業をやり遂げねばならない。これが爲には國民は相當の努力と忍耐とを要する。凡そ如何なる事業にも努力と忍耐を伴はないものはない。故に國民はよろしく戦地にある吾等が同胞の艱苦を思ひ真によく時局を認識して一致團結、この國家的大事業に協力せねばならぬ。

國民一人一人の蓄積は微々たるものであらうが、國民全體が擧つてこれをなすときはその總額は實に驚くべき巨額に上り如何なる國家的事業も容易になす事が出来る。この愛國的熱意こそ今日吾等銃後の國民の最も緊要なる報國の所以ではなからうか。

# 地方情報

## 州廳臨時情報部

### 新竹州健康週間

新竹州臨時情報部

#### 一 趣 旨

現下の非常時局に對處し銃後國防の萬全を期せんが爲には愈々國民の健康を増進し體位の向上に努め以て人的資源の充實を圖らざるべからず仍て國民精神總動員の趣旨に則り之が具體的方策として官民一體となり健康増進に關する運動を實施し所期の目的を達成せんす。

#### 二 期 間

昭和十三年五月十七日より同月二十三日迄(一週間)

#### 三 本州に於ける實施事項

本週間行事實施に當りては五月十六日市街庄主催の下に座談會を開催し、公醫、開業醫、其他適當なる者を以て、町會、部落振興會、講演會及五月二十二日母性保護の日に於ける講演者の爲に打合せを開催すること、尙講の日に於ける講演要項は本州に於て印刷の上配付す。

#### イ 各強調日に於ける實施行事

五月十七日  
町會、部落振興會に於ける講演會及座談會  
五月十六日開催の打合せに於ける講演要項に基き講演會を開催し國民精神總動員健康週間實施の趣旨徹底を圖るに共に左記事項につき座談會を開催すること

#### 1. 衛生模範部落の建設につき實行案の作製

(1) 實行案中即時實行すべき事項の決定

五月十八日

ラヂオ體操の日

各市街庄所在地に於て必ず實施すること

其他學校、派出所、國語講習所々所在地及部落振興會等に於ても成るべく實施すること

五月十九日

健康相談の日

州衛生課試驗室及州下開業醫、同齒科醫、産婆に於て健康相談所を設置せしめ無料健康相談に應ぜしむること

五月二十日

接客業者自制の日

接客業者をして保健衛生に關する施設の整備並法規の勵行に努めしむること共に必要と認むる従業者に對し講演をなし健康相談等を行はしむること

五月二十一日

勞力奉仕の日

五月二十二日

母性保護の日

町會、部落振興會、青年團、其他各種團體等をして夫々適切なる計畫の下に勞力奉仕をなさしむること奉仕事項は五月十七日の座談會に於て具體的に申合せ置くこと

五月二十三日

兒童保護の日

小公學校五年以上の兒童に對し寄生蟲の驅除をなすこと

五月二十三日

口、本週間を通じて實施すべき事項

一、立看板又は懸垂幕、馬糞紙利用等に依る大看板に依り「健康週間」其他適當なる標語を以て宣傳をなすこと

二、各驛及驛附近等汽車中より展望し得る箇所に看板、

職等を立てしむるこゝ

三、各業者、理髮業者、飲食店、料理屋等には成るべく立看板又は職等を立てしむるこゝ

四、各自動車に對し前同様標語を印刷したるビラを貼布し宣傳するこゝ

五、本週中州衛生試験室に於て血液及咯痰の無料検査を施行す

咯痰の検査希望者は記號を附しマツチ箱に入れ提出するこゝ

検査の結果は本人に支障を生ぜざる方法を以て終了後市郡役所掲示板に掲示するものこゝ

六、本週中飲料水に使用する井戸全部につき井戸水を實行するこゝ

七、本週中傳染病及寄生蟲病の豫防運動として蠅、小蠅、油蟲、鼠族の驅除に努むるこゝ

八、日光消毒の勵行

九、痰壺備付の勵行

痰壺未設置箇所に對し本週間に之を完備せしめ特に清潔保持に努めしむるこゝ

潔保持に努めしむるこゝ

十、占、禁呪等の排撃、漢藥類濫用の廢止、密醫の排撃、癘藥濫用の防止、正しき療病の獎勵等醫療に關する陋習、迷信の打破運動に努むるこゝ

十一、週間行事の家庭化に努むるこゝ

各家庭をして本週開設の趣旨を徹底せしめ之が實行を期せしむる爲各家庭毎に實施事項を決定し具體事項及實施の狀況を用紙に記入の上提出せしむ

### 支那事變に關し

#### 執りたる措置

臺南州臨時情報部

#### 一 部落振興會指導者講習會の開催

本州下に於ける國民精神總動員徹底の實行單位たる部落振興會は其の數既に八百三十五箇所多きに達し何れ

贈呈慰藉する所ありたり。

#### 四 愛國婦人會臺南州支部の指導

今次事變勃發以來當州支部の善導に付ては銳意努力しつゝ、ある所なるが支部役員並に會員亦克く協力一致各種團體連絡提携の下に機を失せず使命達成に邁進しつゝ、ある狀況にして事變勃發以來之が爲め騰出せる金額既に四萬四千七百八十八圓五十錢を算せり。

### 銃後の花蓮港

花蓮港廳臨時情報部

#### 一 禁酒禁煙宣誓式舉行

玉里街觀音山郡内在住民は四月二十六日觀音山神社に於て靖國神社臨時大祭遙拜式後禁酒禁煙宣誓式を舉行せるが未成年者百十餘名並家長二百二十餘名參會あり、公學校長の訓示あり、次で青年代表宣誓文を朗讀各家長に

も内憂一元化の理想部落完成に邁進しつゝ、あるも尙現下の時局に鑑み一層之が普及並に内容の充實強化を期し國民精神總動員の徹底を期すべく男女指導員の講習會を開催し男子講習員に對しては部落振興會指導者としての心身の修練と知見を廣めしめ併せて其の實際經營に關し研究協議を遂げ依て各自經營上の資料を體得せしめ又女子講習員に對しては島民生活の改善指導に對する信念を確立せしめ皇民化の徹底に資する目的の下に前者は五月十日より北港郡三條峯臨海講習所に於て後者は五月十五日より四日間新營郡關子嶺講習所に於て講習會を開催せり講習員男子六十四名女子六十六名なり。

#### 二 支那事變の巡回映寫

支那事變の巡回映寫第二十回を實施せり。

#### 三 戦傷者の慰問

五月十二日午前十時半鶴内務部長は總督代理として〇陸軍病院に五月十日歸還したる名譽の戦傷者を見舞ひ總督よりの慰問金を傳達せり尙知事よりも別に金一封を

於ては充分なる監督をなし違反者ならしむる旨決議する所ありたり。

## 二 郡聯合青年團結團式舉行

鳳林郡に於ては五月六日、玉里郡に在りては五月七日、花連郡に於ては五月十二日夫々郡下各青年團員を郡役所々在地に集合せし長期戦の第二段階に入れる現下情勢に對處する爲青年教育の強化を計るべく各郡守並關係官並地方有力者出席の下に各郡聯合青年團結團式を舉行せるが何れも快晴に恵まれ結團式を終了引續いて各種體育競技を行ひ解散せり。

## 三 防護思想及映畫上映

長期戦に處する銃後國民の務めは先づ防護よりの思想を深からしむる爲花連港國防義會主催の下に五月六日より三日間街内筑紫館に於て防護映畫「スパイ戦線を衝く」を上映防護思想普及上利する處ありたり。

## 四 玉里郡下寺廟改善實施

廳下在住本島人は現下の時局に對する認識深く皇民化

## 六 徐州陥落祝賀諸行事實施

徐州陥落の報一度傳はるや廳下在住民は齊しく狂喜し夫々諸行事を實施し祝賀するに共に皇軍將兵の勞苦に對し感謝感激の誠を捧げたり。

花連港街に於ける諸行事大略左の通りなるも鳳林、玉里兩郡及各所に於ても大體右に準據し實施せり。

### 旗行列

五月二十日午後四時小、公、女學校生徒約三千名は街内花崗山グラントに集合し國旗掲揚、國歌合唱、皇居遙拜後街内主要道路を行進午後五時四十分廳舎前に於て萬歳三唱後解散せり。

### 戰勝奉告祭

午後六時より花連港神社に各官公衛、團體、官民有志約四千名參集徐州陥落戰勝奉告祭を實施せり。

### 戰勝祝賀會

午後七時より花崗山記念館に於て街民八百名參集國歌合唱、皇居遙拜戰死病歿者對し哀悼の意を表し默禱一分間の後開宴席上皇軍將兵の勞に對する感謝の意を表する。

運動旺にして最近寺廟改善の機運濃厚なりし處玉里郡民風作興聯合會に在りては四月二十二日玉里公會堂に於て役員會を開催し無届寺廟の神佛像撤去及主神にして時勢に適合せざるものは之を由緒ある神佛に改むべき旨協議可決し五月五日郡下一齊に神佛兩式に依り燒納祭を執行せり。

## 五 銃後の美譽

花連港郊外遊覽地に於て遊覽客を接待し其の日を暮し居りたる某は昨年暴支膺懲の聖戰に参加すべく應召し留守宅には妻女が子女を抱へ夫に變りて業務に精勵中なりしも事變の影響にて人心頓に緊張し遊覽客も日共減少し其の日の生活にも窮し家屋の修繕費は勿論諸事に事足り居りたるを自撃せる花連港街稻住大工職種川富吉氏は接客業にして襖もなきは不自由ならんて襖四枚を新調し之を贈り自から赴きて處々家屋の修繕を行ひたる行爲は此の程世人の知る處となり遺族は勿論近隣を痛く感動せしめたり。

爲支那派遣陸海軍最高指揮官宛感謝電發送を決議し、同四十分盛大裡に終了せり。

### 提燈行列

午後八時より街民五千名花崗山グラントに參集、折からの降雨を衝いて軍歌、愛國行進歌を高らかに唱ひつ、街内主要道路を行進、同九時十分廳舎前に於て萬歳三唱して解散せり。

## 廳民の赤誠

澎湖廳臨時情報部

### ○ 恤兵獻金袋に顯れた廳民の赤誠

國民精神總動員第二次強調週間に於て、廳下獨特の試みとして恤兵獻金袋を保甲壯丁團員等をして配付せしめ且つ其の趣旨を説明せしめ、無記名として眞に心からの獻金を爲さしめ、之が取まこめを小公學校兒童をして當

らしめたところ左表の通り七千八百四十袋この金額八百四十七圓七十六錢に達し、殊に白沙庄の如きは百九十圓八十錢の成績を挙げたり。

この献金の内四百七十五圓は陸軍省へ三百二十九圓十八錢は海軍省へ恤兵金として夫々寄附せり。

この試みに於て金額の多少よりも、小公學校児童をして取まめしめたにも拘はらず、空袋や其の他不徳義なことをする者がなかりしは、國民の赤誠の顯れであり皇民化徹底の一證左なり。

街庄別	献金袋數	金額	一袋平均金額
馬公街	一、八六四	三九四・五〇	一五八
湖西庄	一、七六三	九六三・三九	五五
白沙庄	一、四二二	一九二・八〇	一三六
西嶼庄	一、三六〇	一三〇・四五	九六
望安庄	一、四三三	一三三・六二	九三
計	七、八四〇	八四七・七六	一〇八

記

二四

## 海外情報

### 臨時情報部

#### 現實の大局に目覺め

##### 支那に和平論

支那側に於ける和平停戦論は曩に國都南京が陥落した當時既に一部識者間に唱へられた所であつたが、その後抗戦一年に垂んずる最近に於ては機運愈々熟して南北兩政權合流具體化の風潮に伴ひ漸く表面化せんとする形勢にある。しかして和平運動の首領株と見られるものは北の吳佩孚、南の唐紹儀等を中心に一連の支那老政客を殆ど網羅し又蔣介石政權の内部にある許崇智、徐永昌、汪兆銘、張群、蔣作賓其他和平派と目されるもの及び國共合作を喜ばざる宋子文、孔祥熙等も形こそ異れ各々の立場から之に關心を以て居り、敗將閻錫山、趙戴文、傅

作儀、商震、白崇禧、石友三、萬福麟等北方及び西南軍閥も一役買はんとして日本側又は新政府側に直接間接に何等かの聯携を持つべく種々工作を開始せんとして居る。彼等の此の動きは今の所一致團結した強力なものにはならず裏面に於ける一種胎動的なものに過ぎぬが其の計畫は眞剣な救國の精神に立ち返り、現在の蔣介石政權の政治及び指導精神を再検討し、新に支那を建直さんとするものでその動機は日本に抗戦を繼續しても負けることは明白であり支那民衆に國土の犠牲が深刻なるばかりだから速に日本に停戦し斯の如き大失政をなした蔣介石政權を打倒し今後は曾ての容共政策に依る革命運動に變るに日本に結ばん主張し「打倒蔣介石」提攜日本に

云々現実的大局に目覚め之を根柢として他の政策を樹立せんとして居る。而して彼等は支那の動力であり、支那の共産化を極度に嫌悪する舊浙江財閥を始め、南洋華僑方面にも進んで連繫し此の運動を全支の和平運動にまで廣らさんとするもの、如く此の觀點より蔣介石政權の抗戰態度を牽制し、日本と協力して新支那を建設せんとする氣概を包蔵するもので斯る支那底流は今や次に來らんとする軍事的政治的新情勢を前にして輕視し得ないものがある。

**蔣介石政權何處に？**

**最後の生命線**

**西南各省に異變**

徐州陥落し軍事的並に財政的に打ちのめされた蔣介石政權最後の抵抗が何時迄続くか。  
そして最後の生命線として守つて居る廣東、廣西、福建、雲南の西南各省が果して蔣介石に追隨して行くであらうか。  
廣東の現状から見ても民衆の政府に対する信用は全く

地に落ち、且つ共産黨勢力の増大は今後の鬭争激化を豫想され、又軍事教練に名を籍する壯丁の挑發、未教育者の前線輸送等所恐怖状態を現出してゐる。先づ厦門の攻めあり政府輕視の念は愈々つのり、一方廣東紙幣は暴落の一途を辿り、極度の財政的危機に直面し民衆は國防公債、救國公債に懸じ得ざるのみか收拾出来ない状態に陥入つてゐる。  
次に福建省は厦門陥落を契機として軍政當局に對する不安が濃くなり、省内には土匪が蜂起して居るがこれに對する軍隊の討伐力すでに無く、又厦門の陥落によつて六七百萬元に達する華僑からの送金が杜絶え、更に物資の輸入も沿岸貿易の停止によつて不可能となり省内の不安は内外よりひし／＼と迫つてゐる。  
又廣西省では廣西軍の度重なる北上増派にも拘らず、殲滅的打撃を蒙つた事實に對し省民の不平は段々高まり李宗仁の威信が失墜し漸く政府より離反せんとする傾向にある。  
雲南省昆明は國民政府最後の據點として頼みにしてゐる

るが雲南省内の空氣は國民政府の遷都が實現すれば日本の空襲の目標となること明かであるこの恐怖から國民政府移轉に反對へし傾きつゝある。

**徐州の敗殘兵身の置き所なく**

**投降の止むなきに到る**

日本軍の徐州大包圍戦は世界戦史上に比類なき成功の中に完成され、逃げ遅れた三十箇師以上の抗日軍は日本の南北兩軍の張り廻ぐらす包圍網の中に追ひ込まれ、唯脱出するのに腐心して居る。

これら敗殘抗日軍は津浦線南段から隴海線にかけて到る所に充満し一時は徐州の東南方江蘇省内に逃れて、或は統率者を失ひ、或は武器彈藥を拋棄して、既に我が日本軍包圍陣突破の氣力もなく、晝間は我が日本軍の荒唐の好餌となるを恐れ只管夜間を利用して漢口方面に逃走の機會をうかづて居る。これ等抗日軍は徐州、永城、蒙城方面に網を張つてゐる我が日本軍各部隊に發見され、殲滅的打撃を受けて再び網の中に追ひ込まれ、李宗仁既に逃亡した後、有力幹部も續々部下を捨て去り、網の

中の抗日軍の運命は既に決し、今は唯日本軍の紛碎する所を成るか、又は敗殘兵になつて各所に逃げ惑ふかの二つしかなく而も彈藥、食料の補給の方法もつかない爲、全く戰意を失つて居る。かくして敗北の將兵は江蘇の野に身の置き所もなく、たゞ漢口に奇蹟的に逃れても蔣介石から敗戰を責められて處斷される運命にあるので、寧ろそれより日本軍に投降して新興支那政權に参加しやうとする氣運が濃厚となりつつある。

**在支獨逸軍事顧問引上**

**國民政府大打撃**

ヒットラー總統は日獨防共の精神より在支獨逸軍事顧問に斷呼歸國を命じた。この獨逸人軍事顧問引揚問題は敗戰國支那に限り痛烈な痛手であり、作戦行動にも多大の影響を與へるので非常な恐慌を來し、國民政府筋では特に機密の漏洩を恐れて引止運動に躍起になつてゐるが國民政府のこの態度はヒットラー總統の引上命令の板狭みになつた顧問等は昨日漢口に會合協議の結果一味ユダヤ人、ユダヤ系顧問にして歸國を肯じない者を除く外、

命令通り歸國する事に衆議一決、近く漢口から香港經由本國へ歸へる事になった。

### 日本品の進出に依り

#### 排日貨に狂奔

嚴重なる禁止の目をくぐつて香港經由の日本品の密輸入が絶えない爲漢口政府は商品検査所を設け、武漢地方に入る商品の検査を勵行し軍、警察、政府派遣員、商業會議所も密輸入品の探査に協力しつゝある。

密輸入者に對しては嚴罰、沒收、罰金を以て臨み、取立てた罰金は四割を密告者に、二割を檢舉者に、二割を難民救助に、二割は傷病兵慰安に充てられてゐる。

### 廣東に於て漢奸根絶の爲

#### 非人道的法令發布

廣州市民抗敵後援會に於て今次中支維新政府に参加せる廣東出身陳錦濤、混宋喜兩名の出現に鑑み今後漢奸の根絶を目指して次の如き漢奸根絶法を公布したが右は苛酷なる連座處分のみならず祠宇破壊、墳墓發掘等の非人道的な處罰を以て威嚇して居る。

第一條 本會ハ漢奸ノ發生ト漢奸ノ活動豫防並漢奸ノ

罪惡ヲ制裁セン爲メ本取締法ヲ公布セルモノナリ

第二條 左記ノ行動ヲ爲シタルモノハ漢奸ト認ムルモノトス

1. 偽組織(維新政府、自治會、治安維持會)ノ組織ニ

參加シ又ハ之ニ服務シタル者、

2. 敵人ノ爲ニ間諜ヲ務メル者、

3. 直接間接ヲ問ハズ抗敵工作ヲ破壞シタルモノ

4. 流言蜚語又ハ文書ヲ以テ直接間接ニ民衆ト政府ト

ノ感情ヲ離シ且ツ抗戰統一戰線ヲ破壞セルモノ

5. 物價ヲ暴騰シ又ハ金融ヲ攪亂セルモノ

6. 救國公債ノ賣出ヲ阻害シ或ハ公務員ノ命令ニ服從

セザルモノ

第三條 家族隣家ハ總テ相互ニ自戒スル責任ヲ有スル

ト共ニ漢奸發生ヲ防止スル義務ヲ有ス

第四條 前三條ノ者ハ若シ漢奸嫌疑者發見シタル場合

ハ直ニ當局ニ密告スベシ、或ハ近隣ノ者ハ連絡シ容

疑者トノ交際ヲ絶テ以テ漢奸ノ活動ヲ防止スルモノ

### 廣東の漢奸清掃も狂暴化す

最近廣東に於ては日本語を語り得る支那人は全部漢奸として取扱はれ香港在住者すら既に調査登録せられて居る。抗日團體に参加してゐる不逞の徒は漢奸肅清運動の名の下に私怨あるもの又は抗日會への献金を喜ばざるもの對しては漢奸の疑ありと密告すべしと金錢を強請して居るさうである。これがため再度の強迫を感れ澳門香港方面に避難する者が多數ある有様である。一般良民はこれら抗日不逞分子の暴虐なる振舞に疑心暗鬼一日もして安らかな日もなく戦々兢兢たる哀れな日を送つてゐる。

### 狂的排日抗日の本據

#### 汕頭既に極度に大恐慌

粵軍の廈門攻略により由來最も惡辣な排日抗日の本據であつた汕頭に於ては日本軍に次に攻撃せられるは汕頭であるとなして戦はざる前に人心極度に恐怖状態に陥り、便船毎に南洋方面に避難するもの、家財を纏めて奥地に避難するものにて市内は上を下への大混雜である。

トス

第五條 前記第三、四條ノ義務ハ場合ニ於テハ相當ノ

連帶制裁ヲ受クルコトアルベシ

第六條 漢奸ノ懲罰ハ本取締法ニ依ルベク第二條ニ該

當スル犯罪行動ハ左ノ方法ニ依リ嚴重制裁スルモノ

トス

1. 民衆ニ發動シ五等親内ノ祠宇ヲ破壊ス、又ハ其ノ

直系親族ノ墓場ヲ發掘スルコト

2. 政府ニ申請シ財産ヲ沒收シ省籍ヲ除名スルト同時

ニ懸賞ノ逮捕命令ヲ發スルコト

3. 全省ノ抗敵團體ト連絡シ排斥ノ通電、バラシヲ發ス

ルコト

4. 漢奸ノ一等親ニハ終身ノ公務ヲ褫奪シ其他ノ關係

人ハ親近ノ如何ニ依リテ定メ公權ノ停止ハ五年以

上十年以内トス

但シ政府ニ申請シテ執行スルモノトス

第七條 漢奸ハ本法公布一箇月内ニ保證人ヲ附シ自首

スベシ而シテ抗敵工作ニ努力スルコトヲ以テ前非ニ

換ヘ處分セザルモノトス



市當局では壯丁を徴發し強制的に訓練を施してゐるが訓練日尙淺く、技術方面幼稚にして思想も甚だ雜多にして既に意氣沮喪し、有事に際して頼むに足らず廈門の覆轍を踏むことを避ける爲、廣東軍に正規兵軍隊の増派を要請し人心の安定を計らんとしてゐるが大勢如何もしがたき状態である。

### 抗日軍の命の綱も

#### 今や完全に断たる

抗日軍唯一の命の綱たる粵漢線も断絶なき我が精銳なる空軍の爆撃によつて無茶苦茶に破壊せられたが應急工事によつて辛うじて餘喘を保つてゐるが、今や徹底的に破壊せられた。即ち去る五月十六日湖南省境羅崗に於て南下の客車と北上中の貨車とが衝突し死傷者數十名を出し交通完全に停頓し、爾後軍需品を満載して北上する列車は來陽附近に停頓し修理完了を待ちつゝ、ある状態である。

### 何の爲の軍事施設か

#### 香港に秘密裡に

最近香港ストンカッター方面にて多數支那人苦力を使役し、軍事道路、格納庫等を建設中であつたが大半完了せられた。本工事に使役した苦力は全部山東苦力で威海衛から英國汽船で輸送したものの様である。此の工事が香港附近支那人を避け特に山東苦力を利用する所以は即ち其の施設の秘密を維持せん爲であるといふことである。

### 香港の排日も表面露骨となる

曩に抗日團に依り殺害せられた大阪商船會社香港支店所屬支那人苦力頭事件の犯人は未だ檢舉せらず本事件に關し英國官憲は至極冷淡である。尙香港に潜入して居る抗日分子の取締も亦表面を繕ふ程度の警戒振であるから市内に潜入活動してゐる共產黨員、抗日團或は藍衣社の如きは苦力頭慘殺事件以來活動漸次活潑となり、最近香港に本店を有し神戸に支店を設け日本線布の取引をしてゐる支那商人成發號に對し、抗日團の名を以て「近く貴店を襲撃し漢奸として極刑を加へ云々」と脅迫状を郵送した外支那系の漢字新聞に「成發號と取引關係をなす者は漢奸と見做し私刑を加へる云々」と日貨排斥を市民に對し愛想をつかした感である。

使喚する等暴威を振ひ日貨販賣者を間接に脅迫した。之が爲成發號の主人は身の危険を恐れ所在を晦し四十萬圓の日貨は半値に等しい價格で目下密かに賣捌してゐる。

### 本國政府の實狀を知つて

#### 馬來の華僑愛想をつかす

支那事變勃發と共に國民政府の指令に基き馬來在住華僑の間に於ては陳嘉庚を委員長として難民救濟義金募集委員會を組織し寄附金及自由公債募集に乗り出し、盛に本國政府要人の來星、華僑の愛國心に呼びかけると共に、盛んに誇張せる戰捷虛報を以て躍起の奔走を續けてゐるが、最近に至り本國政府の實相を知るに及び應募者の熱意漸次冷却するに至りたるに、募集金の使途に一般疑惑を感じしむるに至りたるの爲め成績芳しからざるに業を煮やし、過般來る五月以降六ヶ月々賦拂を以て新に五弗乃至五〇弗の寄附を募集することを委員會から發表したので華僑間には寄附を強制するものとして露々たる非難を捲き起した。

過去幾度かの排日、日貨「ボイコット」及本國政府への

寄附金應募等に依り相當犠牲を拂つて來てゐるのに馬來華僑としては常に何等之に酬ひらるゝ處無く本國政府に對し愛想をつかした感である。

### 南洋華僑團から痛烈な絶縁狀

南洋華僑團體は事變以來數回に亘り蔣介石の對日抗戰に對し軍費として莫大な資金を献納したが、蔣介石が連戰連敗徐州を奪はれ、更に多數華僑の郷里である廈門を占領され之を回復する望さへない臍甲斐なきに憤慨し、蔣介石以下軍官憲當局に對して

「吾々の寄附金は何に使用したか、獻納飛行機は裝飾品ではない筈だ」と痛罵し、今後吾等は斯かる不信の當局に對しては援助する事は出來ぬ」と電報し、南洋華僑團の反蔣的空氣は甚しく激化してゐる。

此の電報に接した蔣介石は大いに狼狽し、更に華僑寄附統一團組織を命令するに同時に華僑々務員長陳樹人外數名の代表を南洋に派し戰況を報告し、全華僑の諒解を得る事に決定したが、一般華僑の反蔣熱は漸く熾烈になりその成行は重大視されてゐる。

# 事變日誌

## 臨時情報部

五月十一日

1. 我が海軍部隊の廈門攻略は着々順調に進み遂に全島を席卷し敵は對岸に向け潰走中なり。
2. 海軍航空隊は廈門大學に蟻踞する敵部隊を猛撃又大陸方面に於ては軍用自動車群並に龍巖、長汀、福州の各飛行場を爆撃せり。
3. 廈門島の攻略は本島の將來に及ぼす影響頗る大にして五百萬島民の衷心より要望するところなりしが敵も亦福建並に南洋華僑の重要據點を失ひたるを以てその驚愕極點に達せり。
4. 狼狽の福建省政府は「永安」に移轉するこゝに決せり。(同地は北に延平、南に龍巖を控え浙江、廣東、江西に迫る要路なり)又廣東にては市民は極度の不安に陥り續々香港に向け避難中なり。

五月十二日

1. 廈門攻略は略々完了し海軍陸戦隊は整然として市内の整備に當り又他の一部は山地に逃走せる敗殘兵を掃蕩中なり。
2. 廈門放棄の支那敗殘兵の暴行に備へ米國軍艦アツシビル號の陸戦隊コロンスに上陸在留米人の現地保護に當れり。
3. 蒙城を出發せる我が部隊は途中の敵を撃破しつゝ、永城に迫り同地を占領せり。
4. 我が軍部隊は津浦南段の敵重要據點臨漁集、韓村集及び南平鎮を一舉に占領せり。
5. 廣州方面に作戦中なる我が部隊は黃山、四方山(廣州東方五里附近の嶮に據り頑強に抵抗せる敵約一千を撃破更に前進中なり。
6. 海の荒鷲の活躍  
イ、津浦線方面に於ては陸軍の作戦に協力宿縣並に蒙城南方の敵集團部隊を爆撃  
ロ、廣東方面に於ては天河、白雲兩飛行場を猛爆せり。

五月十三日

1. 廈門全島を完全に占領せり。
2. 徐州大會戦始まる。一前古未付有の大包圍攻撃!  
イ、永城より北進中の我が快速部隊は早くも韓道口に達し。隨海線上の敵重要地點礪山附近に於ける同線の切斷は最早時間の問題となり。  
ロ、南進部隊隨海線へ三里の地點に肉薄、南北より我が挾撃に徐州の敵大動搖を來せり。

五月十四日

1. 本日の重要占領地左の如し。  
イ、麻州(合肥)……蕪湖、南京、定遠方面の敵ゲリラ隊の本據潰滅  
ロ、金鄉、魚嶺……濟寧附近を發進湖西側地區を南下せる部隊  
ハ、曹州(荷澤)……渡河南下部隊  
ニ、内黃(蘭封東方約三里)占據……隨海線上歸德、蘭封間の敵の連絡を遮斷  
3. 岩仲快速部隊遂に礪山附近にて西部隨海線爆破切斷の歴史的偉業を完成せり。  
4. 海軍航空部隊徐州市内十數箇所を猛爆大火災を起さしめたり。

五月十五日

1. 北上中央部隊は濰溪口、杜家集、瓦子口を占領せり。
2. 滄河々畔に於ける我が奇襲挺身隊は大聖集、羅家集を占領愈々固鎖の敵を南方より制壓しつゝ、あり。
3. 鄭城方面より南に向け發進中の我が部隊遂に新安鎮、瓦窪間三箇所の鐵道燬破に成功完全に東部臨海線を切斷せり。
4. 山東省境を越えて江蘇省に進出せる我が部隊は邳縣及び濰上集を占領更に南進中。
5. 寺内最高指揮官徐州大會戰指揮の爲め戰線に向ひたり。
6. 徐州の危機刻々に迫り狼狽の蔣介石は李宗仁に對し同地の死守を嚴命せるも組織系統を異にせる同戰線の雜軍が果して蔣並に李宗仁の命に従ふかミうか頗る疑問視さる。

五月十六日

集れり。

五月十七日

1. 本日の戦況左の如し。  
イ、北上の我が軍敵の前線陣地郵寨を占領尙も進撃中。  
ロ、霸王山の敵要寨を占領直ちに同山頂より徐州城の砲撃を開始せり。  
ハ、霸王山よりの徐州攻撃に呼應して我軍は敵最後  
の抵抗線たる臥牛山に猛攻撃を開始せり。  
ニ、魚臺方面より南進中の我が部隊は唐集を占領引  
續き東方に向け敵を急追中。  
2. 大黄河、沼澤、大運河等困難な地理的條件を克服  
南進中の各部隊は隨所に敵を撃破しつゝ、續々臨海  
線附近の重要地點へ進出包圍を完成せるを以て愈  
々徐州、歸德、蘭封等に對する臨海全線の一齊攻  
撃開始されんミす。  
3. 我が三面よりの包圍に陥りたるま、砲彈の洗禮に  
見舞はれたる敵大集團の一部は早くも陣地を捨て

三四

1. 本日各方面に於ける戦況左の如し。

- イ、濰溪口を突破せる我が北上部隊は濰縣を占領愈々徐州に肉迫せり。
- ロ、瓦子口を突破せる我が北上部隊は臨海線上の要衝黃口を占領せり。
- ハ、邳縣を突破せる我が南進部隊は砲車、大運河の線へ進出更に同運河を渡河西へ一齊進撃を開始せり。
- ニ、敵山嶽陣地鳳凰山を占領、同山は徐州城を睥睨する戰略的最重要地點なり。
- ホ、我が空軍の偵察によれば臺兒莊南方約四里の宿羊山驛附近に於て敵約一萬退却を開始しなほ各所の部隊も之に合流する模様なり。
- ヘ、津浦線宿縣の敵は極度に動搖を來し東方靈壽及び泗縣に向け退却を開始せり。
2. 徐州の敵總司令李宗仁形勢非ミ見て早くも何れへか逃亡せるもの、かくて總帥を失ひたる敵大軍の運命や如何に今や世界の注目は此の一戦に

4. 廈門市は我が軍の手により漸次治安を恢復し極めて平靜なるも邦人引揚の跡は慘憺たる有様なり。
5. 今回の廈門攻略ミ前後して開始されたる我軍の徐州一齊進撃は漢口長沙方面の人心に極度の不安を與へ非常なる動搖を來さしめたり。

五月十八日

1. 宿縣完全占領、これにより南北相呼應する包圍圈の壓縮行動は愈々本格的ミなれり。
2. 徐州城危ふし……臥牛山に對する集中砲撃ミ共に我が歩兵部隊敢然西側陣地に迫る。
3. 臨海線を遮斷され遡る、に途なき敵は屢々同線の奪回を企て逆襲し來るも其の都度我が軍のため撃退せられたり。

五月十九日

三五

1. 戦史に燦たり我が部隊の活躍  
イ、午前九時徐州西側城壁の一角を占據、同十時城内に突入、續いて敗敵掃蕩完全に之を占領せり。  
ロ、固鎮(津浦線の要地)、内黃(臨海線西部)、沛縣占領。
2. 敵前着陸荒鷲部隊の活躍。  
陸の荒鷲徐州東方駱駝山飛行場並に同西南方馬頭山飛行場に着陸同地を完全に占領せり。  
3. 厦門市中央公園に於て我が攻略部隊の輝かしき開兵式舉行せられたり。
- 五月二十日
1. 晴れの徐州入城式舉行せらる。
2. 我が南進部隊の一部は敵の背面に迂回徐州宿遷街道の要衝双溝を占領敵の退路を完全に遮断せり。  
3. 徐州南方山嶽地帯に遁入せんとする敵約十萬あり、我が軍之を南北より包圍殲滅せんす。
4. 敗戦の汚名を雪がんし敵は開封、蘭封附近一帯に約三十萬の兵を集中しつゝ、あり。  
5. 隴海線蘭封及びその南方杞縣を猛撃中の我が渡河部隊は同陣地中央を突破し楊壩集、圍章(楊壩集の西北十軒)を占領せり。此の作戦で蘭封杞縣の敵は早くも動搖を來せり。  
6. 我が海軍主力部隊連雲港及び東連島に敵前上陸同地域一帯を占領せり。  
7. 海の荒鷲歸德、洪澤湖及びその西方地區の敵集團部隊を爆撃せり。  
8. 陸の荒鷲蘭封附近に於て敵十機を撃墜又他の一部は歸德を攻撃せり。  
9. 厦門に於て南支名部隊今日迄の戦没者の合同慰靈祭行はれたり。  
10. 徐州陥落を祝し全島一齊に小公學校生徒の旗行列並に一般民の盛大なる提燈行列行はれたり。

昭和十三年五月二十九日印刷  
昭和十三年六月一日發行  
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地  
印刷人 加藤 豊吉  
印刷所 臺北市京町一丁目四十三番地  
小塚本店印刷工場